



道徳だより



6 / 23 (水)

「どっちがいいか」の授業から

「約束やきまりの意義を理解し、相手や周りのことを考えて、それらを守って生活しようとする。」というねらいで授業を行いました。

まずは、ある村を例に、ルールは多いほうがいいのか、少ないほうがいいのかをじっくり考えました。そこから、子どもたちは、「多いときゆうくつではあるが、けんかが起きない。」「少ないと自由だけど、自分勝手な人が多くなる。」「多すぎるのは大変だけど、少なすぎると自分勝手な人も出てきちゃうから難しい。」などと、ルールは何のためにあるのかということについて、深く考えていました。

その後、自分の生活を振り返り、みんなが気持ちよく生活できるように考えられるルールについて、ワークシートに記入していました。

